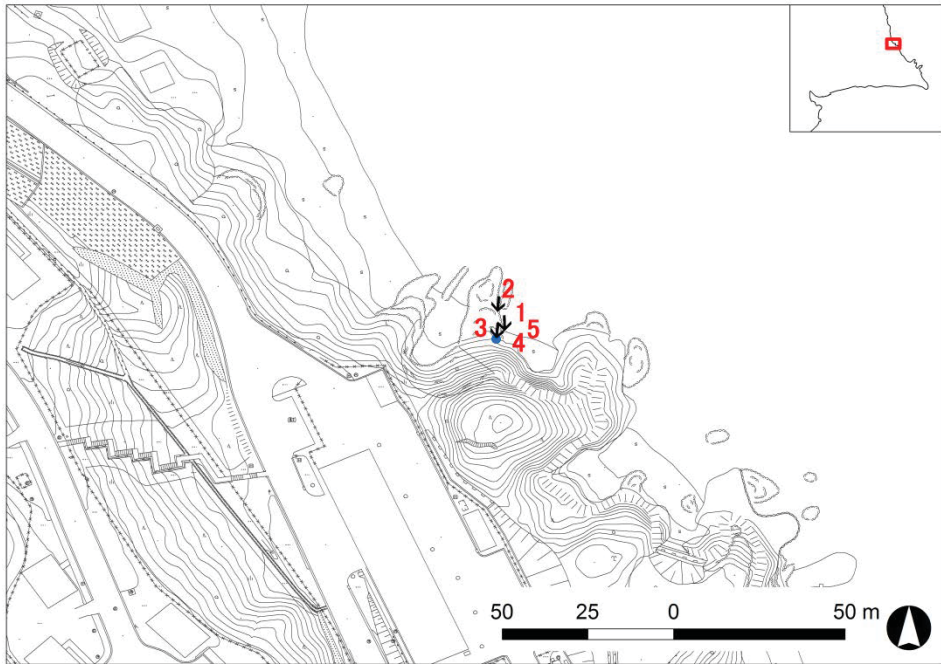


付表- 4.2.2.5(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 90)

No.	90
種類	海蝕洞・石灰洞
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	辺野古崎の北西約 1,150m に位置する海蝕崖の海蝕洞である。 No.87 の波蝕棚から近い場所であり、波蝕棚の南東に接している。 潮位にもよるが、比較的海水に浸かっていることが多い。
位置	 <div data-bbox="416 1211 852 1379" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.90 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度: 26° 31' 43.6725" ・経度: 128° 02' 48.0904" ・標高(EL): 1.695m ・標高(DL): 2.858m </div>
形状・構造	No.87 の波蝕棚に接し、その南東側の陸域に位置する。海蝕洞の大きさは、横幅約 2m、高さ約 2m で奥行きは 5m 程度である。
規模	海蝕洞の大きさは、幅約 2m、高さ約 2m、奥行き約 5m。
その他 (保存状態)	潮位にもよるが、海蝕洞は常に海水に浸かり、波浪を受けている状況である。

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.90 観測点座標】

- ・緯度: 26° 31' 43.6725"
- ・経度: 128° 02' 48.0904"
- ・標高(EL): 1.695m
- ・標高(DL): 2.858m



調査地点: No.90(海蝕洞・石灰洞)

撮影日時: 2014.6.30 9:37



位置情報: 緯度 26° 31' 43.75"
経度 128° 02' 47.72"
撮影方向: 北北東

位置情報: 緯度 26° 31' 43.75"
経度 128° 02' 47.88"
撮影方向: 北東



位置情報: 緯度 26° 31' 44.02"
経度 128° 02' 48.09"
撮影方向: 東北東

位置情報: 緯度 26° 31' 43.98"
経度 128° 02' 48.18"
撮影方向: 西

付表- 4.2.2.5(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 90)

写真



写真 (No.90①)
No.87 波蝕棚の上から観察しやすい。潮位にもよるが、常に海水に浸かり、波浪の影響を受ける場所にある。



写真 (No.90②)
同上。
写真左側に No.88 の嘉陽層の露頭(断層)が見える。



写真 (No.90③)
同上。

付表- 4.2.2.5(4) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 90)



写真 (No.90④)
海蝕洞。
常に海水に浸かり、
波浪の影響を受ける
場所にある。



写真 (No.90⑤)
同上。

写真

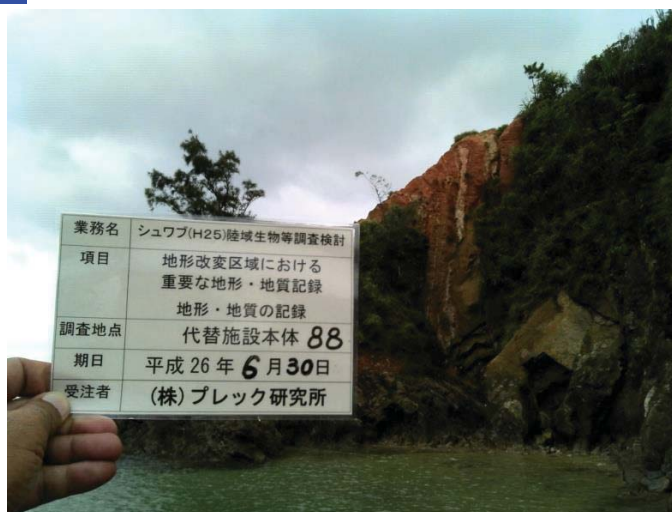
付表- 4.2.2.6(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 88)

No.	88
種類	嘉陽層の露頭(断層)
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 1,100m、No.832 の大規模褶曲に連続する高さ 17～18m の海蝕崖で、嘉陽層の断層とその周辺にスランプ褶曲が観察される。「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)の p112 の第 12.133 図及び第 12.134 図で逆断層を伴う非対象褶曲、スランプ褶曲として紹介されている。米軍調査(Flint et. Al,195)で確認されていた美謝川河口付近の断層と同一のもの。</p>
位置	 <p>【No.88TS 設置点 N1 座標】 ・緯度:26° 31' 43.8303" ・経度:128° 02' 48.0426" ・標高(EL):0.846m・標高(DL):2.005m ・観測点 No.88 方向角:136° 54' 34" ・観測点 No.88 距離:33.916m</p>
形状・構造	<p>両側の小さな岬に挟まれた湾状の最奥部から向かって左側の岬にかけての海蝕崖に幅約 30m、高さ最大 16～17m に達する露頭がみられ、その崖面に断層が観察される。南側の No.832 に連続する露頭にはスランプ褶曲が発達する。潮位にもよるが、陸からは近づけない立地に位置している。</p>
規模	<p>幅約 30m、高さ最大 16～17m 程度の海蝕崖に逆断層を伴う褶曲やスランプ褶曲がみられる。南側の No.832 の嘉陽層の露頭(断層)に連続している。</p>
その他 (保存状態)	<p>保存状態は現在のところ比較的良好であるが、ほぼ直立した断崖絶壁である上、激しい断層運動に伴い部分的に粘土化が進み脆弱化しているため(断層ガウジ)、崖面の崩落が懸念される。</p>

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.88TS 設置点 N1 座標】

- ・緯度: 26° 31' 43.8303"
- ・経度: 128° 02' 48.0426"
- ・標高(EL): 0.846m
- ・標高(DL): 2.005m
- ・観測点 No.88 方向角:
136° 54' 34"
- ・観測点 No.88 距離: 33.916m



調査地点: No.88 (嘉陽層の露頭(断層))

撮影日時: 2014.6.30 9:49



位置情報: 緯度 26° 31' 44.03"
経度 128° 02' 48.18"
撮影方向: 南

位置情報: 緯度 26° 31' 44.06"
経度 128° 02' 48.04"
撮影方向: 南東



位置情報: 緯度 26° 31' 44.03"
経度 128° 02' 48.16"
撮影方向: 南

位置情報: 緯度 26° 31' 44.01"
経度 128° 02' 48.14"
撮影方向: 南

写真



写真 (No.88①)
No.832 の嘉陽層の露頭(断層)に連続する小さな岬に囲まれた高さ17~18mの海蝕崖で、写真中央部に断層、向かって左側にスランプ褶曲が観察される。崖面の背後が No.836 の露頭で、大規模褶曲や断層がみられる。



写真 (No.88②)
海蝕崖の高さは約17~18mで、地層が直立する上、断層面の部分の岩石が激しい摩擦などによって破壊され、粉々になって粘土状になっているため(断層ガウジと呼ばれる)、地盤が脆弱で崖崩れが生じやすいものと考えられる。

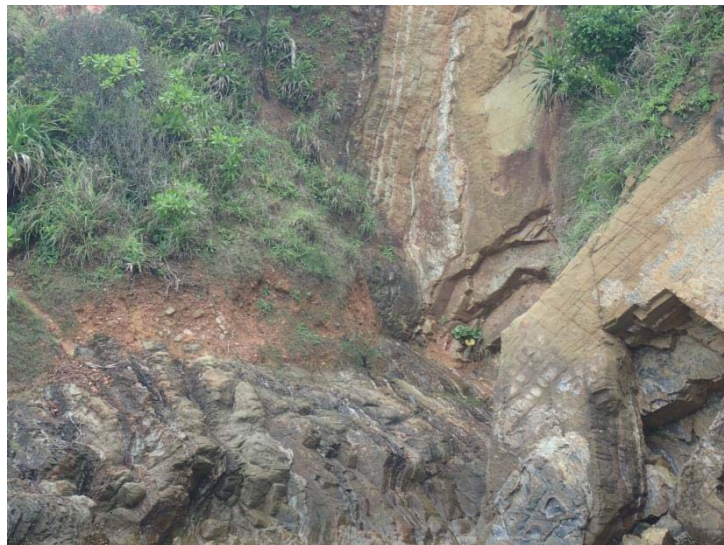
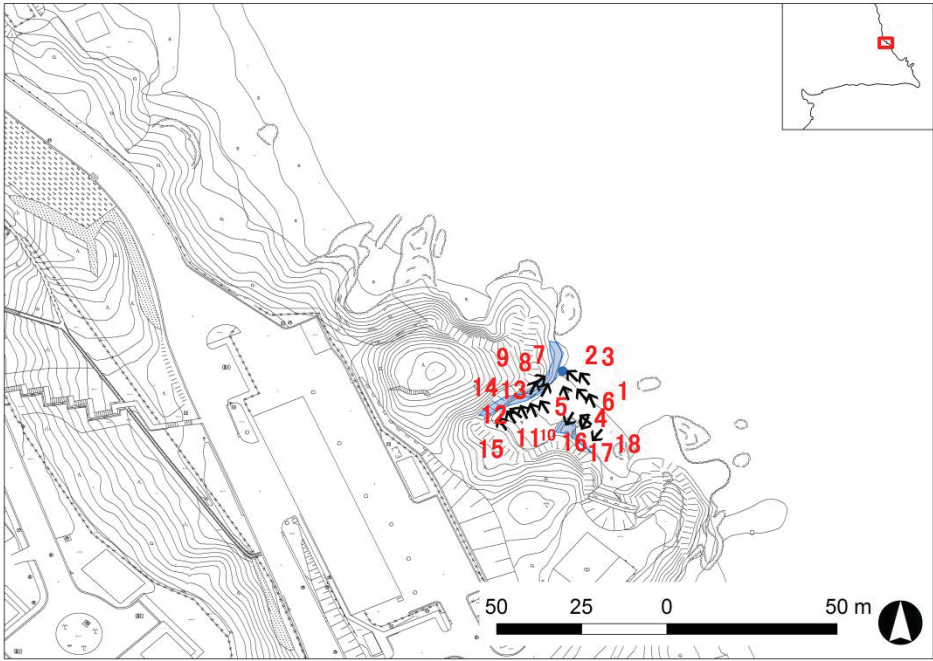


写真 (No.88③)
同上。
露頭の下部。

付表- 4.2.2.6(4) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 88)

写真		<p>写真 (No.88④) 同上。 写真左側の岬先端部にはスランプ褶曲が観察され、崖面背後の No.832 の嘉陽層の大規模褶曲の露頭に連続する。</p>
		<p>写真 (No.88⑤) 同上。</p>
		<p>写真 (No.88⑥) 同上。</p>

付表- 4.2.2.7(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 832)

No.	832
種類	嘉陽層の露頭(断層)
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 30 日
概要	辺野古崎の北西約 1,100m の辺野古崎北方海岸に位置する海蝕崖の露頭で、嘉陽層の褶曲や断層が発達する。「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)の p112 の第 12.135 図、第 12.136 図に大規模褶曲として紹介されている。
位置	 <div data-bbox="408 1263 844 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【No.832 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 42.8717" ・経度:128° 02' 49.3674" ・標高(EL):-0.079m ・標高(DL):1.084m </div>
形状・構造	No.88 の嘉陽層の露頭(断層)に続く両側が岬状の岩塊に挟まれた海蝕崖の露頭で、大規模な褶曲や断層がみられる。低地に砂浜が入りこみ、褶曲や断層は主として南南東に面した露頭に発達する。露頭の幅は延べ 30m 前後、高さは 5~10m 程度である。海岸線から陸側に向かって左側の露頭にも断層がみられる。
規模	露頭の幅は延べ 30m 前後、高さは 5~10m 前後で、大規模な褶曲や断層が数多くみられる。「名護・やんばるの地質」で大規模褶曲として紹介されている。
その他 (保存状態)	保存状態は比較的良好であるが、湾入部に砂礫が堆積しつつある。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.832 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 42.8717"
- ・経度:128° 02' 49.3674"
- ・標高(EL): -0.079m
- ・標高(DL): 1.084m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形改変区域における重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体832
期日	平成26年6月30日
受注者	(株)ブレック研究所

調査地点:No.832(嘉陽層の露頭(断層))

撮影日時:2014.6.30 13:33



位置情報:緯度 26° 31' 42.84"
経度 128° 02' 49.72"
撮影方向:西



位置情報:緯度 26° 31' 43.09"
経度 128° 02' 49.57"
撮影方向:北北西



位置情報:緯度 26° 31' 42.84"
経度 128° 02' 49.38"
撮影方向:北



位置情報:緯度 26° 31' 42.64"
経度 128° 02' 49.24"
撮影方向:北

付表- 4.2.2.7(3) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 832)

写真



写真 (No.832①)
No.88 の断層の南側の岬にみられる高さ 20m 近い嘉陽層の露頭で、写真正面低部に大規模な褶曲が発達する。
「名護・やんばるの地質」p112 の第 12.135 図、第 12.136 図に紹介されている。



写真 (No.832②)
同上地点の露頭低部にみられる大規模な非対称褶曲。



写真 (No.832③)
同上。

写真



写真 (No.832④)
辺野古崎北方海岸
にみられる大規模褶
曲。
向かって右側の海
蝕崖の地層は直立
している。



写真 (No.832⑤)
同上。



写真 (No.832⑥)
同上。

写真



写真 (No.832⑦)
露頭に向かって褶曲
の左側には断層が
観察される。赤白ポ
ールの右上から左
下にかけて直線状
に見える。

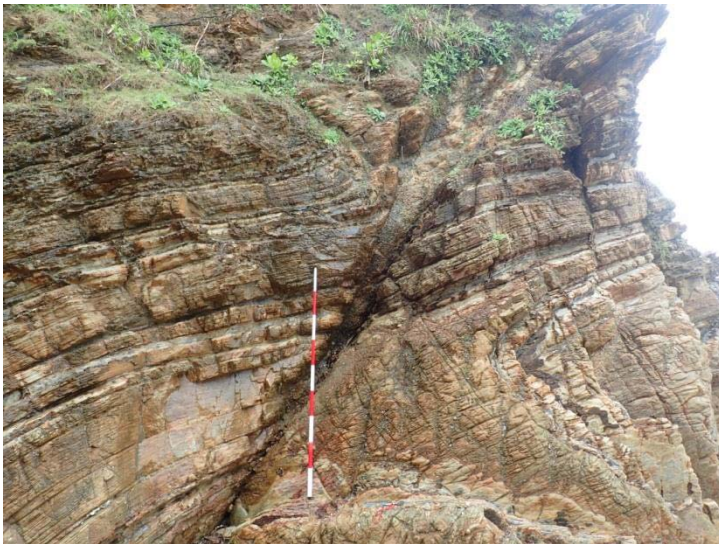


写真 (No.832⑧)
同上。
断層面に沿って断層
粘土が観察される。



写真 (No.832⑨)
同上。
断層粘土。